



日時：令和6年12月19日（木） 9時30分～
場所：本庁舎4階403会議室

議事次第

- 1 会議の目的 **【危機管理監】**
- 2 復旧対策等の実施状況 **【事務局】**
- 3 今回の災害対応に係る検証について **【事務局】**
- 4 災害対策本部長指示 **【本部長】**

1 会議の目的

令和6年8月27日(火)の大雨災害における復旧対策の実施状況及び今回の災害対応に係る検証結果について報告するもの。

2 復旧対策等の実施状況

(1) 被害状況等の把握・整理 (令和6年12月12日(木)午前10時時点)

区分		件数	対応中	済	対応済割合 (12/12時点)	対応済割合 (11/27時点)	増減	主な内容等
住家被害	床上浸水	26	0	26	100%	100%	0%	
	床下浸水	39	0	39	100%	97%	3%	土砂撤去完了
	土砂流入	11	2	9	82%	73%	9%	
	その他被害	10	2	8	80%	80%	0%	
公共施設被害		22	6	16	73%	64%	9%	旧浅岸小学校に被害なし
その他建物被害		3	0	3	100%	100%	0%	
敷地内土砂崩れ		16	0	16	100%	100%	0%	
道路被害	国道	8	0	8	100%	100%	0%	
	県道	4	0	4	100%	100%	0%	
	市道	87	7	80	92%	87%	5%	市道、側溝、水路等の復旧完了
	林道	28	3	25	89%	89%	0%	
	農道	9	2	7	78%	56%	22%	補助制度について説明済 土のう設置で復旧完了
	その他	7	0	7	100%	86%	14%	直営でアスファルト舗装
農地・農業用施設被害		66	34	32	48%	29%	19%	補助申請説明済・受理、法面修復
上水道施設被害		2	2	0	0%	0%	0%	
下水道施設被害		2	0	2	100%	100%	0%	
河川関係		41	17	24	59%	49%	10%	土砂撤去完了、ブルーシート設置
合計		381	75	306	80%	73%	7%	

※ 詳細は、「【別紙1】令和6年8月27日大雨災害 被害状況一覧」を参照

(2) 被害、復旧等見込額

(千円)

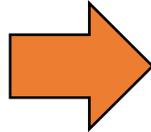
(令和6年12月12日(木)午前10時時点)

区分	被害見込額 11月14日時点	被害見込額 12月12日時点	増減	主な増減理由
市道	567,784	395,457	△172,327	<ul style="list-style-type: none"> 被害見込額の精査(国庫補助の査定)による増減 区分見直しのための減
林道	547,000	547,000	0	
農地・農業用施設	294,297	363,042	68,745	<ul style="list-style-type: none"> 区分見直しのための増
河川	154,688	252,247	97,559	<ul style="list-style-type: none"> 被害見込額の精査(国庫補助の査定等)による増減 区分見直しのための増
水道施設	235,197	262,877	27,680	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設の復旧事業の増 館見橋水管橋復旧費用の精査による増
その他	40,968	54,159	13,191	<ul style="list-style-type: none"> 標識、井戸、焼却施設の被害見込額の精査による減 区分見直しのための増
合計	1,839,934	1,874,782	34,848	

(3) 上米内地域 (畑橋) の状況



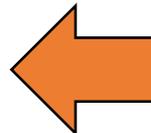
12月5日時点



12月10日時点



12月10日時点



12月5日時点

3 今回の災害対応に係る検証について

(1) 検証会議について

- ア 日時 令和6年12月13日(金) 午前10時30分から11時30分まで
- イ 場所 本庁舎本館8階806会議室
- ウ 出席者
- (市) 市長、中村副市長、危機管理統括監、農林部長、建設部長、総務部長
- (有識者) 岩手大学地域防災研究センター 福留 邦洋 教授
岩手県立大学防災復興支援センター 杉安 和也 副センター長
- (関係機関) 盛岡地方気象台、岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所
岩手県復興防災部防災課、岩手県県土整備部河川課
岩手県盛岡広域振興局土木部、盛岡市消防団
- エ 意見等の内容 ※主なものを抜粋
- ・災害対策本部の設置時期について、「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」や「線状降水帯発生情報」を判断基準としているが、併せて「土砂災害警戒情報」についても判断基準の参考にしてはどうか。(気象台、県防災課)
 - ・小中学校を対象にした防災講座等を行うなど、若い世代への防災教育を推進することが重要であると考えます。(気象台、岩手県立大学 杉安副センター長)
 - ・発災直前もしくは直後に行政が対応できることには限りがあることから、市民一人ひとりが自主的に判断して正しい避難行動がとれるよう、周知啓発等に努めてほしい。(岩手大学 福留教授)

3 今回の災害対応に係る検証について

(2) 検証結果について ※別紙2参照

令和6年12月13日(金)に開催した検証会議で出た意見等を踏まえ、次のとおり作成した。

- ア 【概要版】 令和6年8月27日大雨災害に係る対応検証
- イ 【本編】 令和6年8月27日大雨災害に係る対応検証
- ウ 【資料1】 令和6年8月27日における大雨等の概要及び被害状況等
- エ 【資料2】 令和6年8月27日における本市の主な動き
- オ 【資料3】 盛岡市災害対策本部規程

別紙2（令和6年8月27日大雨災害に係る対応検証資料）につきましては、令和6年12月20日（金）の市議会全員協議会にて公表を予定しております。

(3) 今後のスケジュール

令和6年12月20日（金） 全員協議会（検証結果の報告）

※令和7年1月以降、検証結果等を踏まえ、市地域防災計画や市災害対策本部規程等の見直しを実施する予定。

4 災害対策本部長指示

各部においては、引き続き連携して復旧対策を推進すること。

また、災害対応に係る検証結果を踏まえ、いざというときに迅速かつ適切な対応を行うことができるよう、万全を期すこと。